

## ロシアのウクライナへの侵略に抗議し、即時中止を求める(声明)

2022年2月25日  
安保破棄中央実行委員会  
事務局長 東森英男

ロシアは24日にウクライナに対して全面的な軍事攻撃を開始しました。

これは、国連憲章や国際法を乱暴に蹂躪し、ウクライナの主権を侵害する行為であり、断じて許すことはできません。ロシアに対して、直ちに軍事攻撃を中止するよう強く求めます。

ロシアのプーチン大統領は、今回の攻撃の口実を、ロシアが一方的に「独立」を承認した東部地域の「共和国」からの要請や、ウクライナ国内のロシア人を守るためなどとしていますが、今回の侵略の目的がウクライナの政権をつぶすことにあることは明らかです。

このような野蛮な軍事攻撃が「集団的自衛権」の名のもとに行なわれることは絶対に認められません。

さらに、プーチン大統領が演説で、「ロシアは世界で最強の核保有国の一つ」などと述べて、核攻撃をも示唆する発言を行なっていることは言語道断です。

私たちは、ロシアが武力攻撃を中止するとともに、国連憲章と国際法を遵守するよう厳粛に要求します。

そして、憲法9条を持つ日本国政府が、国際平和実現のための積極的な努力を行なうよう求めます。

以上